

## シェフラー、グループ初の CSRD に準拠した 「サステナビリティ・ステートメント」を発行

- シェフラーグループ初となる欧州 CSRD（企業サステナビリティ報告指令）準拠のサステナビリティ・ステートメント
- ヴィステコとの合併後も、サステナビリティはシェフラーの最優先事項
- 合併企業の視点に立ったサステナビリティの戦略的強化
- シェフラーは、CDP 評価で再び「リーダーシップ」レベルの高スコアを獲得

2025 年 3 月 5 日 | Herzogenaurach / Yokohama

シェフラーグループは、「サステナビリティ」を包括的かつ最重要テーマとして位置づけ、バリューチェーン全体で環境的・社会的責任を果たします。「2024 年度サステナビリティ・ステートメント」の発行を通じ、利害関係者の皆さまに企業としての透明性を確保すると同時に、活動の進捗状況についてご報告します。EU の企業サステナビリティ報告指令（CSRD: Corporate Sustainability Reporting Directive）に準拠した「サステナビリティ・レポート 2024」をシェフラーグループの 2024 年度年次報告書の一部として初めて発行しました。同レポートは、欧州サステナビリティ報告基準（ESRS: European Sustainability Reporting Standards）に準拠して作成されています。

シェフラーCEO のクラウス・ローゼンフェルドは次のよう述べています。「ヴィステコとの合併後も、サステナビリティがシェフラーの最優先事項であることに変わりはありません。当社は企業としての責任を果たし、お客様やパートナー各社と共に、持続可能な事業を可能にする解決策を追求し続けます。透明性は当社にとって特に重要であると考えています。シェフラーグループ全体の報告プロセスは、欧州の統一要件に一貫して準拠しています。」

### ヴィステコのデータは第 4 四半期から反映

2024 年 10 月 1 日付けでヴィステコ・テクノロジーズ・グループ AG のシェフラー AG への合併は完了していますが、サステナビリティ・ステートメントの大半は、それ以前のシェフラーグループのサステナビリティ・パフォーマンスに基づいた内容となっています。合併によりヴィステコ・テクノロジーズ・グループ AG が存在しなくなったことに伴い、ヴィステコ・テクノロジーズのデータは第 4 四半期からシェフラーのサステナビリティ・ステートメントに統合されています。

## サステナビリティ評価とランキングで高スコアを獲得

環境分野でサステナビリティ戦略を着実に実行してきた実績が評価され、シェフラーは 2024 年のサステナビリティ評価およびランキングで高スコアを獲得しています。例えば、環境情報開示システムを提供する国際的な非営利団体 CDP による最新の評価結果にも、当社のサステナビリティ・パフォーマンスに対する高い評価が反映されています。「気候変動」分野で「A」、「水セキュリティ」分野で「A-（マイナス）」をそれぞれ獲得しました。これにより、シェフラーは今回も、最上位の「リーダーシップレベル」のスコアを獲得した企業として評価を受けました。もう 1 つの事例が、ドイツを代表する日刊経済専門紙「ハデルスブラット」が主催する「2024 Global Transition Award」の受賞です。シェフラーのクライメートパフォーマンスの実績と目標が評価された他、パリ協定の「1.5°C 目標」の達成に向けた積極的な貢献が認められたことが今回の受賞につながりました。

シェフラーグループのサステナビリティ・ステートメントは、2024 年のグループの主な取り組みや活動の進展などについて、具体的な指標や目標と共に情報を提供しています。当ステートメントのデジタル版は下記サイトよりダウンロードいただけます。

[www.schaeffler.com/en/media/dates-events/annual-press-conference](http://www.schaeffler.com/en/media/dates-events/annual-press-conference) (英語版)

## 将来の見通しに関する記述等について

本プレスリリースには、将来の見通しに関する記述が含まれています。将来の見通しに関する記述には、現実の業績や事業活動が本プレスリリースに含まれる将来の見通しに関する記述で言明・示唆された内容と異なるリスク、不確定性や仮定が本質的に内在しています。こうしたリスクや不確定性、仮定が、ここに記載される事業計画や活動の実際の結果や財務状況に影響を与える恐れがあります。シェフラーは、新たに入手した情報や今後起こりうる事象を元に、これらの将来の見通しに関する記述を公的に更新したり改定したりする義務を負いません。これらの将来の見通しに関する記述は、本プレスリリースが発行された時点でのみ有効ですので、これに全面的に依拠することはお控えください。本プレスリリースに含まれる過去のトレンドや実際に起きた事象に関する記述は、こうしたトレンドや事象が将来的にも継続することを表明するものではありません。シェフラーもしくはその代理人によりなされた、すべての将来の見通しに関する記述は、書面もしくは口頭の伝達手段の別を問わず、上記の注意事項の適用対象といたします。

発行者: Schaeffler AG / Schaeffler Japan Co., Ltd.

国: 日本

注) 本プレスリリースは現地時間2025年3月5日にドイツ・ヘルツォーゲンアウラッハで発行されたものの日本語訳です。英文の原文との間で解釈に相違が生じた際には原文が優先します。



\*\*\*\*\*

#### シェフラーグループ - We pioneer motion

シェフラーグループは、75 年以上にわたりモーションテクノロジーの分野で画期的な発明と開発を推進してきました。電動モビリティや CO<sub>2</sub>排出削減効率の高い駆動システム、シャシーソリューション、そして再生可能エネルギーのための革新的なテクノロジー、製品、サービスにより、シェフラーグループは、モーションの効率性、インテリジェンス、持続可能性を高めるための、ライフサイクル全体にわたる信頼できるパートナーです。シェフラーは、モビリティエコシステムにおける包括的な製品とサービスの範囲を、ベアリングソリューションやあらゆる種類のリニアガイドシステムから修理および監視サービスに至るまで、8 つの製品ファミリーに分けて示しています。シェフラーは、約 120,000 人の従業員と 55 か国に約 250 以上の拠点を持つ、世界最大級の同族会社でありドイツで最も革新的な企業の一つです。

#### 連絡先

シェフラー・ジャパン株式会社  
広報部 マネージャー 金城道代

TEL: +81 90 2734 8155

E-mail: [pr-japan@schaeffler.com](mailto:pr-japan@schaeffler.com)

